

科目名 成人・老年看護学実習Ⅲ	授業担当者 中川 郁子	所属 中通高等看護学院
開講時期 :前期～中期	単位数 :2 単位	時間数 :80 時間
授業の目的 成人・老年期にある対象を総合的に理解し、機能障害を抱える対象の生活の維持・向上に向けての看護を実践できる能力を養う。		
授業の概要 本実習は疾患や加齢による機能障害を抱えた患者を受け持ち、科学的根拠に基づいて必要な看護を実践できる基礎能力(知識・技術・態度)を養う総合的な学習である。様々な機能低下が日常生活にどのような影響をもたらすのかを捉え、患者の強み、願いを考慮した目標を設定し、セルフケアの自立に向けた支援の方法を学ぶ。臨地実習要綱の学習内容を意識し、行動目標を達成できるように主体的に学習を進めて欲しい。本実習では、3年次の実習の中で比較的技術経験ができる実習でもある。積極的に経験し自信を持ってできる技術を増やす機会として欲しい。		
受講上の注意・事前学習の内容 実習ガイダンスで提示した事前課題について学習し、それらを実習内で活用できるようにして臨むこと。 患者の状態を想定し、清潔、排泄に関する看護技術を練習すること。詳細については実習要綱・実習ガイダンス参照。		
授業計画 中通リハビリテーション病院 3階病棟にて実習を行う。 1. 実習ポートフォリオを作成する。 2. 患者を1名受け持ち、患者の個別性を考慮した看護を展開し実践する。 3. 見学や実践を通し、成人期・老年期にある患者の日常生活援助の方法を学ぶ。 4. 実践・カンファレンス等を通し、患者理解を深め看護アプローチについて考える。 5. 実践や評価会議を通して、チーム医療の在り方や連携と協働、リハビリテーションに関わる各専門職種との役割、およびチームの中の看護師の役割について考えを深める。 6. 実習ポートフォリオを用いて、実習で獲得したことや学びについてプレゼンテーションを行い共有する。		
テキスト 系統看護学講座 専門 老年看護学 医学書院 系統看護学講座 専門 老年看護 病態・疾患論 医学書院 系統看護学講座 別巻 リハビリテーション看護 医学書院		
参考書・指定図書 写真でわかる リハビリテーション看護アドバンス インターメディカ		
評価の方法 成人・老年看護学実習Ⅲのルーブリック評価表に基づいて評価する。		

*この科目は実務経験のある教員による科目となります